

論壇

予算事項には承認が必要

米大統領選挙は想像以上の接戦だったが、最終的にはバイデン新大統領で決着した。これで米国の政策がどう変化するのか、世界がどのような影響を受けるのか、新聞僚の顔ぶれも含めて検討が必要となる。

ただ、意外と注目度は低いが、上院での選挙結果が今後の米国の政治に大きな影響を及ぼすことを忘れてはいけない。増減税や財政支出など予算に関する事項は、上院の承認が必要であるからだ。オバマ大統領の時代には、大統領がいろいろと大胆な政策を実行しようとしても、共和党が多数を占め

伊藤 元重

学習院大教授(国際経済学)

米上院選の重要性

上院によってブロックされてきた。今回の選挙で、米国の分断が大きな話題になった。これはトランプ支持と反トランプという感情的な分断もあるだろうが、政策思想についても米国では分断が大きく広がっている。小さな政府が大きく

も共和党が予想以上に健闘しており、最終的には共和党が過半数を取る可能性も少なくない。民主党の大統領の政策を共和党優位の上院がことごとくブロックするというオバマ政権時代の繰り返しが必要になればよいが、米国の選挙制度は、日本人にと

つたが、前回の選挙ではヒラリー・クリントン候補は票の数ではトランプ候補を上回っていたにもかかわらず、投票人の数でトランプ候補に及ばなかった。

ジョージア再選挙に注目

実は上院選挙は州ごとの結果にさらに大きな偏りが出る。それぞれの州で2人ずつの上院議員を選出するが、人口の少ないワイオミング州のようなところは58万人が2人の上院議員を選ぶが、人口の多いカリフォルニア州では390万人が2人の上院議員を選ぶ。1票の格差で見ると、カリフォルニアの人はワイオミングの人の67分の1の影響力ということになる。大都市と地方の1票の格差については日本でもよく議論されるが、その格差の大きさは比較にな

らないほど米国の上院議員選挙の方が大きい。今回の大統領の投票結果を見てわかるように、民主党支持者は大都市地域に集中しているのに対して、人口過疎地域の多くでは共和党が優位に立つ地域が多い。結果として、上院議員の選挙では共和党が圧倒的に有利になる。今回の大統領選挙でも上院で共和党が健闘しているのもこのような理由による。

な政府か、減税か増税か、環境問題への対応をどうするのかなど、民主党と共和党の姿勢は180度違うように見える。そこで上院の選挙結果が気になる。僅差であつたジョージア州について1月に再投票が行われるようであるので、最終結果はそこまで待たなくてはならない。それで

つては不思議なものに映る。今回の大統領選挙でもおなじみになったが、それぞれの州で過半数をとった候補が、その州の割り当ての選挙人を総取りする。まるで国盗り物語のように、この州は青とか赤とか色分けされる。今回はより多くの票を集めたバイデン氏が州ごとの代表人の数でも多数派とな

る。バイデン政権がどのような政治的な取りをするのか注目されているが、正確にはどのような取りができるのかが問われている。その中で上院の及ぼす影響は非常に大きい。まずは、1月の再選挙の結果、上院の勢力図がどうなるのか注目して見たい。